

科目名	精神看護学特講 I			分野・必選別・ 単位数	専門科目 (精神看護学)	選択必修	2単位
担当教員	◎教授 松澤和正						
課程	博士前期	配当年次	1年	配当学期	前期	授業方法	講義
授業の概要	精神保健看護の実践を対象とする研究・文献等を、臨床人類学、臨床社会学、現象学、ナラティブ・アプローチ等の諸領域から探索し、精神保健看護の実践の場において存在する多様な論点を議論しつつ明らかにすることを目的とする。						
授業の到達目標	精神保健看護の実践的課題を、臨床人類学、臨床社会学、現象学、ナラティブ・アプローチ等の諸領域から文献的に探索し、各領域毎の特徴ある論点を概説できる。						
授業計画	回数	担当者		行動目標			
	1	松澤 和正	教授	科目概説 授業の目的、内容、方法、評価等を説明できる。			
	2	松澤 和正	教授	精神保健看護の実践への臨床人類学的探索とその成果について整理・検討し議論できる(1)			
	3	松澤 和正	教授	精神保健看護の実践への臨床人類学的探索とその成果について整理・検討し議論できる(2)			
	4	松澤 和正	教授	精神保健看護の実践への臨床人類学的探索とその成果について整理・検討し議論できる(3)			
	5	松澤 和正	教授	精神保健看護の実践への臨床人類学的探索とその成果について整理・検討し議論できる(4)			
	6	松澤 和正	教授	精神保健看護の実践への臨床社会学的探索とその成果について整理・検討し議論できる(1)			
	7	松澤 和正	教授	精神保健看護の実践への臨床社会学的探索とその成果について整理・検討し議論できる(2)			
	8	松澤 和正	教授	精神保健看護の実践への臨床社会学的探索とその成果について整理・検討し議論できる(3)			
	9	松澤 和正	教授	精神保健看護の実践への現象学的探索とその成果について整理・検討し議論できる(1)			
	10	松澤 和正	教授	精神保健看護の実践への現象学的探索とその成果について整理・検討し議論できる(2)			
	11	松澤 和正	教授	精神保健看護の実践への現象学的探索とその成果について整理・検討し議論できる(3)			
	12	松澤 和正	教授	精神保健看護の実践へのナラティブ・アプローチによる探索とその成果について整理・検討し議論できる(1)			
	13	松澤 和正	教授	精神保健看護の実践へのナラティブ・アプローチによる探索とその成果について整理・検討し議論できる(2)			
	14	松澤 和正	教授	精神保健看護の実践へのナラティブ・アプローチによる探索とその成果について整理・検討し議論できる(3)			
15	松澤 和正	教授	精神保健看護の実践への上記学際的探索の全体的結果について総括し議論できる。				
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	授業内容に関する指定された文献等を事前に読み込み、自分なりの理解ができるようにしておくこと。					
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、教科書等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。					
	【必要時間】	当該期間に30時間以上の予復習が必要。					
教科書	適宜文献等を指定する。						
参考書	適宜文献等を指定する。						
成績評価の方法および基準	レポート50%、口答発表50%で評価する。						
その他履修上の注意事項	履修前提条件:1年次に倫理教育「eLCoRE」を受講し、修了していること。 試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行うので有効に活用すること。 この科目は、本専攻の学位授与方針2と関連していることに留意し授業に取り組むこと。						